

隊友夷隅だより

公益社団法人 千葉県隊友会
会員数 3,055名
支部数 36支部
夷隅支部員 19名

NO15号

令和2年2月1日発行

いすみ市大原台 317-2 TEL0470-63-0161 FAX0470-62-6306

発行：千葉県隊友会夷隅支部

編集：支部長 高橋 清三

2019年9月末現在



【令和2年度夷隅支部総会・新年懇親会終了】
夷隅支部は、第8回令和2年度総会を1月18日（土）午後4時から、いすみ市岬町和泉「ホテル九十九里ヴィラ」とぼつで、支部員10名参加で開催しました。総会には高木会員の司会で初めにいすみ市会議員でもある久我司副支部長の挨拶に続き、高橋支部長から令和元年行事報告、令和2年度行事予定計画説明後、全会員で検討後賛成多数で了承されました。続いて午後6時30分からは、恒例となりました、新年会（懇親会）に入り中嶋勝浦・御宿分会長の乾杯で始まり和気藹々、カラオケで賑やかに進行し、その日は、10名宿泊して朝食後解散しました。



【令和2年度夷隅支部活動（行事）として、昨年の自然災害多発に伴い特に「千葉県夷隅地域防災倉庫への支援活動を重視したい」と思いますが、②現職自衛隊員家族（災害発生時の）安否確認支援協力③勝浦市川津にある平和観音像「沖風」慰霊顕彰事業の継続④会員の福祉親睦活動（車移動ウオーク）年4回、新・忘年会の開催、自衛隊記念日への参加、訪問等）を継続して、隊友会の魅力化に努めて、会勢拡大につなげたいと思います。

【平和観音像旧海軍駆逐艦「沖風」の史跡指定と文化財説明看板設置について要望書提出】高橋夷隅支部長は、令和元年9月10日に旧友勝浦土屋新市長を表敬訪問し、「沖風」平和観音像の経緯等説明し、川津港高台にある平和観音像を史跡指定と文化財説明看板設置についての要望して参りました。その後11月6日（土）は、後期夷隅支部会議後には、1月10日「沖風」の慰霊祭に備えるためにも年2回目の平和観音像周りの草刈り作業、清掃作業を4名で行いました。今回は、特に台風15号、19号による強風の影響で、観音像入口付近から倒木等で階段登れず、会員がチェンソーで持参していたので、倒木したの切断し難なく観音像のある上まであがる事が出来、さすが、元自衛隊員である事が頼もしく感じた次第です。所定の作業がいつもとつりに終了する事が出来ました。



【旧海軍駆逐艦「沖風」慰霊祭の参加】
毎年祥月命日1月10日津慶寺宇野住職により、遺族関係者と夷隅支部会員7名と防衛省茂原募集事務所の前橋1曹参加され、毎日新聞記者が取材に入るなか厳粛に慰霊祭が行われました。

【会員紹介】：山本法義さん



上列右から3人目が山本氏

勝浦市浜勝裏にお住まいで、昨年3月に陸自武山駐屯地退職し、昨年4月に勝浦市役所、総務部「防災危機管理官」として勤務しています。傍ら隊友会夷隅支部員として昨年4月に入会され、支部活動、行事に積極的に参加され、隊友会員としての模範生であります。今後も、地域社会貢献の活躍ご祈念申し上げます。

【活動報告】令和元年9月～令和2年1月（今号は、別紙添付年間報告参照）

隊友会の目的の1つに、慰霊顕彰事業がありますが、夷隅支部は現在、勝浦市川津にある「沖風」平和観音像を対象に取り組んでおりますが、この度、勝浦市長へ「史跡指定と文化財説明看板設置」依頼文を紹介します。

旧海軍駆逐艦「沖風」は、東京湾口で対潜掃討に従事中、昭和18年1月10日米潜水艦「トリガー」の電撃により勝浦灯台南方8海里にて沈没しました。乗員154名中死者54名。勝浦市川津にある「平和観音像」は戦後生き残りの方が、当時の亡くなった戦友の慰霊碑を自費で海の見える勝浦灯台近くに建立したものです。現在この慰霊碑を維持管理は、建立されたご子息が、岩手県盛岡市在住で、高齢の為儘ならず、公益社団法人隊友会夷隅支部が支援しています。毎年祥月命日には、津慶寺・宇野住職により、遺族関係者等で「慰霊祭」を行っております。この「平和観音像」を、勝浦市の戦争史跡として、文化財指定され、文化財説明看板を設置されるよう要望いたします。

【会員動向】

今回は、会員の入退会はありませんが、終身会員で住所不明者がでました。

住所不明者：勝浦市：小畑聡さん

【編集後記】

昨年の台風被害で、家屋等の被害受けられた会員様にお見舞い申し上げます。千葉県隊友会でも僅かですが、見舞い金申請を受け付けしました。このところ温暖化で地球的気候変動が起きているようなので、今年も気候変動での天災事変には気を付けて生活しなければならないですね。1月中頃には、勝浦市では河津桜が咲き始めていました。

